

## 編集 後記

本号は高齢化社会を迎え、介護に関するエビデンスが多く掲載されています。介護保険法が制定され、従来の居宅系サービスや施設系サービスに加えて、新サービスとして「介護予防サービス」や「地域密着型サービス」の創設が検討されています。掲載論文も、介護施設への入所に関連する介護者の要因や要介護者に関わる健康診査所見からみたリスク評価など新サービスに向けてのエビデンスが紹介されています。また、資料ではその運用に際して社会福祉協議会等関連機関との連携の事例が紹介されています。今後、効率的な介護保険法の運用に向けて、公衆衛生学会会員の情報交換の場としても本誌が果たす役割の大きさを感じています。

高齢者に対する介護の問題の他に、将来を担う小児への食育は重要な課題とされています。朝食摂取行動はBreslowの健康習慣にも含まれる健康行動であり、如何に正しい朝食摂取行動を身につけるかというエビデンスが紹介されています。

公衆衛生の課題は、保健サービス以外にリスク対応が求められています。感染症情報は国民的課題であり、関係者での情報共有は大きな対策の柱になります。情報共有としてメール法と郵送法の比較を行い、将来の情報提供について検討しています。

本誌が現在の社会の課題をいち早く反映し、その課題解決にエビデンスを提供していけるよう編集委員会の責務を感じています。  
(吉田勝美)

### 次号予告 (第52巻・第4号)

#### 総説

ボランティア活動が高齢者の心身の健康に及ぼす影響—地域保健福祉における高齢者ボランティアの意義—……………藤原佳典, 他

#### 原著

レジオネラ症集団感染患者の精神的健康と日常生活の変化との関係……………鶴田来美, 他

#### 公衆衛生活動報告

高齢者向け運動のアドバイザー「健康御師」の養成および活動支援……………重松良祐, 他  
保健師・助産師による新生児訪問指導事業の評価—育児不安軽減の観点から—……………佐藤厚子, 他

#### 資料

地域住民の活動満足度と生活習慣との関連……………中谷素子, 他  
乳幼児の救急医療に対する保護者の不安とその要因—埼玉県4市町の調査から—……………下開千春

### 第18回日本循環器病予防セミナー案内

実行委員長：古賀義則（久留米大学医療センター教授）

講師・受講生：講師23名、受講生50名（循環器予防学に燃えている医師、大学院生・研究生、コメディカルを歓迎します。公募の上決定しますが基本的に早い人を優先いたします。）

期 日：平成17年7月8日（金）～13日（水）

会 場：武雄センチュリーホテル（佐賀県武雄市武雄町武雄4075-13）

主 催：社団法人日本循環器管理研究協議会、財団法人日本心臓財団

セミナーの内容：疫学方法論、疫学、介入研究、臨床試験のスタディデザイン、予防ストラテジーなど（研究計画立案のグループワーク）

受講料：セミナー費用、宿泊・食事代（3食）込みで50,000円

受講申込み：受講を希望される方は、所定の申込用紙にて5月14日（土）までに事務局に申し込んでください。5月末日までに選考の上通知いたします。

申込書は事務局（日本循環器管理研究協議会）まで請求してください。

事務局（申込み・問合せ）：社団法人日本循環器管理研究協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-48-10 25山京ビル305号

Tel. 03-3989-0680 Fax. 03-3989-0953